

第4回小樽市新総合体育館整備検討委員会 議事録

開催日時：令和4年11月7日（金）14：00～15：30

開催場所：小樽市教育委員会第1会議室

出席状況 ○委員・・・9名

中川委員長、柴田副委員長、吉田委員、岡本委員、鍛冶委員、奥山委員、堀口委員、渡邊委員、廣瀬委員

○教育委員会・・・7名

林教育長、薄井部長、鈴木次長、近藤主幹、富樫課長、原田主査、浪岡主事

○株式会社建設技術研究所（委託業者）・・・3名

1. 開会

2. 議事

I 協議事項

(1) 規模・機能について

- ・【事務局】資料1「規模・機能」について説明。
- ・【委員】新総合体育館のメインアリーナは現総合体育館よりも小さくなるのか？→【事務局】新総合体育館のメインアリーナはバスケットボール2面、サブアリーナはバスケットボール1面の広さとなる。
- ・【委員】現総合体育館の第3体育室に代わる部屋がない。卓球で人気の部屋である。→【事務局】現在の1～3体育室を多目的室、格技室に集約する形を想定しており、部屋としては減るが、卓球を含め多目的に活用可能と考えている。
- ・【委員】卓球協会からの意見はあるか？→【事務局】卓球協会とは大会開催に係る調整をしている。
- ・【委員】p.3、法面に建物を付ける形で整備した方がよい。→【事務局】詳細は今後の検討となるが、高低差を利用することも1つの考え方としては想定される。
- ・【委員】イベント時の座席の配置図があるが、椅子の収納スペースは検討されているのか？→【事務局】1階部分についてはパイプ椅子を並べる形を想定している。その収納スペースの検討は必要と考えている。
- ・【委員】プロレス等のイベントは体育館で実施するべきではない。イベントの前後3日間、体育館が使えなくなる。また、アリーナで大会や選挙等を実施する場合も、全館貸切りではなく、使用していない部屋は一般開放できるような計画としてほしい。→【委員】現総合体育館が開館した当時は、イベント利用など多目的に使うことを想定し、競技のラインが引いてないと聞いている。その後、イベント利用はほとんどされていない。利用するごとにラインテープの費用がかかる。→【委員】以前は葬儀を実施したこともある。→【委員】採算を確保する観点から、イベントの収入は見込んでいないのか？→【事務局】これからの時代は、収入が得られる体育館にしていく必要がある。
- ・【委員】これまで体育館を使っていない人も使える体育館という方針からも、イベントの実施は重要と思われる。
- ・【委員】利用目的について、どのような線引きとなるのか？→【事務局】公序良俗に反するような利用は受け入れていない。現総合体育館では、イベント利用は通常の利用料

金の設定と異なる料金設定で受け付けている。

- ・【委員】 イベント利用時に使用するステージは可動式とし、通常利用時は収納しておくのか？→【事務局】 収納することも可能であるが、イベント会社が持ち込む場合も多い。
- ・【委員】 市民アンケート調査では、20代・30代の回答が少ないながらも、イベント・コンサートの希望が多かった。若い方にも利用してもらえるよう、イベント・コンサートを実施した方がよい。
- ・【委員】 スタンドイングで入る場合、人数の定員はどの程度になるか？道内の新設3年目の大学で、体育館の床が抜けた事例もある。安全面への対応も必要である。→【事務局】 人数制限は検討が必要と考えている。→【委員】 具体的に定員何名と示せると、運用上望ましいと思われる。
- ・【委員】 キッズルームは何歳までの利用を想定しているのか？→【委員】 幼児（小学校入学前）でよいのではないか？→【委員】 託児室とキッズルームを一緒にしないでほしい。また、キッズルームは、専門の知見を持った人が設計し、運動の専門の方が常駐するのか？事業者に一任するのではなく、専門的な知見を踏まえて、子どもの身体的な能力を伸ばすことができるような設計・運営にしてほしい。
- ・【委員】 ランニングコースは、追い越しレーンやウォーキングレーンなどが必要であり、最低でも2レーン必要になるとと思われる。
- ・【委員】 プールについて、1,500㎡とあるが、公認プール、幼児用プール、歩行用プールを設ける場合も、この面積で可能か？→【事務局】 25mプールのレーン数の設定による。また、歩行用プールを独立させるのか、25mプールの1レーンを歩行用とするのかの検討も必要である。現段階では、この面積で想定している。
- ・【委員】 障がい者の大会を高島小学校温水プールで実施したことがあるが、控室として体育館を使用したため、移動が大変であった。また、プールサイドが狭く、待機できない状況も見られた。公認プールでなくてもよいので、余裕をもった設計にしてほしい。→【委員】 プール室と共用部の関係や、動線などはどのように考えているか？→【事務局】 施設内の動線計画については、今後の検討となる。
- ・【委員】 アリーナ等の照明について、バドミントン等の競技に支障がある配置となっている場合があるため、配慮いただきたい。また、壁の色についても、シャトルが見やすい色としてほしい。
- ・【委員】 窓も競技に支障が出る場合があるため、配置を考慮してほしい。
- ・【委員】 p.24、2階に格技室・多目的室とあるが、1階部分はどうのような諸室を想定しているか？→【事務局】 ボイラー室、トイレ・更衣室等を想定している。詳細な配置は今後の検討となる。
- ・【委員】 災害備蓄倉庫は、敷地内に設置するのか？→【事務局】 建物内に設置する場合と別途屋外に倉庫を設置する場合の2パターンが想定され、今後の検討となる。→【委員】 小樽商科大学では、東日本大震災後に、改修工事を行い、防災備蓄倉庫を設置したという経緯がある。
- ・【委員】 各競技団体等の要望を踏まえ、この図面に収まるのか？また、公認プールの可否について決める必要があるのではないか？誰もが使えるプールにする観点から、公認プールとせず、多様なプールを設置する必要がある。→【事務局】 現段階では、この面積内で収める予定である。また、現在、アリーナ部分を優先して決定している。公認プールの可否については引き続き検討が必要と考えており、次年度に決定したい。
- ・【委員】 公認プールにする場合も1,500㎡の中で収めるのか？→【事務局】 体育館部分

のアリーナについては、各競技団体と協議の上、決定しているため、変更しない。共用部等については検討の余地がある。

- ・【委員】アリーナについては、競技団体との協議の結果、この計画で支障がないということか？→【事務局】不便になる部分はあるが、この内容で了承をいただいている。
- ・【委員】災害対策本部として運用するにあたって、斜面が崩壊するような危険性はないのか？→【事務局】現時点で、土砂災害の警戒区域に指定されていない。今後、状態を見て、補強を行うなどの検討は必要となる。
- ・【委員長】協議事項1については、本日の意見を反映した上で、承認いただいたということではよいか？→【委員一同】異議なし。

(2) 事業手法について

- ・【事務局】資料2「事業手法」について説明。
- ・【委員】小樽市内の事業者に調査したのか？→【事務局】今回は全国の事業者を対象に調査した。→【委員】小樽市の事業で、市内事業者が参画しないというのは問題ではないか？→【事務局】PPP/PFI 事業の場合、グループを組んで実施することとなり、大手企業が市内企業と組んで参画するケースが多い。最初の事業は大手と組んで実施するが、その後は可能な限り地元企業が主体で実施できるようにしていくケースが多い。

(3) 管理運営の基本的な考え方について

- ・【事務局】資料3「管理運営の基本的な考え方」について説明。
- ・【委員長】特段の意見がないため、承認いただいたということではよろしいか？→【委員一同】異議なし。

(4) 概算事業費について

- ・【事務局】資料4「概算事業費」について説明。
- ・【委員】以前に試算した58億円というのはどのような数字か？→【事務局】長寿命化計画時には58億円と試算していたが、物価上昇の影響により1.2倍となっている。→【委員】建設時には70億では収まらず、その他の費用を含めると100億円程度になるのではないか。小樽市民が6万人になるという状況を踏まえると、将来の子どもたちに借金を残すことになるのではないか。より良い施設を造ることも重要であるが、可能な限り多目的に使えるようにする、収入が得られる施設にするなどの視点が必要である。→【委員】災害の交付金等も含め、財源確保の検討も必要である。
- ・【委員】国土交通省と文部科学省の補助金は同時に活用できるのか？→【事務局】国庫補助は基本的には同時に使えないことが多いが、対象とする諸室・機能を分けて使うことは考えられる。可能な限り、補助金等を活用できる方法を検討中である。
- ・【委員】利用料金も上がるのか？→【事務局】決定はしていないが、利用料金も見直しが必要となる。ただし、利用料金制の基本的な考え方としては、施設整備費を利用料金で回収するというのではなく、人件費等のランニングコストを利用料金で賄うとの考え方である。
- ・【委員長】本日の意見を反映し、ご承認いただいたということではよろしいか？→【委員一同】異議なし。

3. その他

- ・ 【事務局】第5回整備検討委員会は12月2日（金）14時～開催予定。

4. 閉会